

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314



備中分教会・・・山陽高速道路を東進し岡山県に入ると、間もなく左側に陶山が、更に約1km  
ずつ東進した右側に備中・弥高山の各分教会が点在する。いずれも、福山市坪生方面から山越え  
して岡山県に入る道路沿いに位置し、航空写真で俯瞰すれば、山中の小さな集落だが、明治30年  
代には、布教活動が展開されていた。備中分教会の沿革を分教会史に求めると、紆余曲折を経な  
がら栄枯盛衰を繰り返し「そんな山の中」に教会が設立された経緯が詳細に述べられている。

立教181年  
6月号

縦の伝道講習会開催

5月月次祭終了後

少年会



「縦の伝道講習会」 金山千穂先生

少年会(武内正美団長)は、5月21日、月次祭の祭典講話に替えて「縦の伝道講習会」を、少年会本部委員・金山千穂先生(本部直属淀分教会長夫人)を講師にお迎えして開催いたしました。

福山分教会で8人兄弟姉妹の長女として生まれ、笠岡大教会での鼓笛人口宿、雅楽講習会、英語講習会、また女子成年活動など様々な行事や活動に参加し仕込んでいただいたことが、現在の少年会活動、育成会員としての支えと

なっている、と初めに話されました。

淀分教会へ嫁がれ、平成5年から1年おきに6人の女の子を授かり、平成20年、初めての男の子・初男さんが生まれ、その友達が教会に出入りして賑やかに遊ぶ様子を紹介。教会おとまり会や教会こども会で子ども達と接するヒントとして『天理教の教え』(道友社DVD)の「育て」の中の「子ども」の時分教会へ来て怒っておいて、それなのに大人になって教会へ来い、来いと言っても無理な話や…」という話を紹介されました。

また さあさあ小人々々は十五才までは親の心通りの守護と聞かし、十五才以上は皆めんくの心通りのや。

(明21・8・30)

というおことばを引用され、15才までは全部親の心遣いで子どもは何も責任もない。15才まで親がしっかりと子どもをしつけていくことが必要。信仰を伝えることも、そのしつけの中の大きな一つである、と。

次にご自身の体験談として、親が喜んで通っている姿、子どもに徳を積んで残してやりたいという姿を見せてくれたこと、「神様はな…」・「先を楽

しみに…」と言いつづけてくれたこと、また高校や和裁専門学校の修学旅行の費用を嬉しそうにお供えして徳を積んでくれたこと、そのおかげで、単独布教中の主人と1年半も修学旅行の行き先であった沖縄で過ごすというご褒美をいただいたと話され、子どもに徳の積み方を伝えていくことの大切さ、親が信念をもって言い続けることが子どもに魂に教えを染みこませることになる、と述べられました。

「ありがとう！ よろこびつなごうおやさ」という立教181年こどもおぢばがえりのテーマについて触れられ、「ありがとう」のもつ幾つかの意味を紹介された後、地元で感謝と喜びのこころを育んで、その喜びのこころを繋いでおぢばに帰っていたきたい、という思いがこのテーマには込められていると話され、育成会員には、こどもおぢばがえりで体験する喜びは、将来おぢばへおぢばへと繋ぐたねとなる信じて、こども達が喜びと感謝の心をおぢばへ繋げられるように、またおぢばでその心が更に膨らむように心を込めての丹精を促されました。

その具体例として、事情教会復興に派遣された部内教会の後継者家族のおぢ

ばがえりの楽しさやにいがけの大切さを、言うて聞かせて見せて子ども達の前で共に喜んでみせている様子を話されました。

また今年の少年会年頭幹部会での真柱様のお言葉「親神様の思召を叶えるためには一歩も譲らないというような教祖の毅然としたお態度は、次代へ道を伝え繋ぐ責任を持つ私たちが目指す一つの尊い手本であります。」と

もう道というのは、小さい時から心写さにやならん。そこえく年取れてからどうもならん。世上へ心写し世上からどう渡りたら、この道付き難い。(明33・11・16)

を引用して育成者の子どもへの接し方を述べられました。  
更に子どもに信仰を伝えるということにおいては、立教175年年頭幹部会の真柱様のお言葉を引用され「信念を持つて、子供の頃にしつけられたことは、いつまでも心に残ります。未だ何ものにも染まらない、素直で純白な子供の心に信仰の喜びをしっかりと映さなければならぬのであります。年取つて、世上の考えに染まってからでは、どうしても理屈が先に立って、道の教えを素直に得心できにくくなってしま

うのであります。子供たちの心に信仰の喜びをしっかりと映そうとするならば、まず自らが神一条の心を養って、教えに基づく毎日を送ることが大切であります。」と述べられました。

最後に、沖縄で授かった長女・たまもさんの名前の由来に関する三代真柱様とのやりの中でいただいたハガキの結びにあった「どうか立派な道の子として育ててくれるよう頼みます」という言葉を紹介され、親神様・教祖は、人を導かせていただく立場にあるお互いに「どうか身の回りにいる子ども達を一人も残らず立派なよふぼくに育ててくれるように頼む」と期待して下さっているとありますので、その期待にお応えして今年のごどもおちばがえりには一人でも多くの子供さんをお連れ帰りいただきますよう、また教会おとまり会・教会ごども会の全隊実施に向けて心を砕いて下さいますよう呼びかけられてお話を終えられました。  
(少年会副団長 吉岡 誠一郎)

「有志ひのきしん隊」  
実施  
青年会

青年会笠岡分会は、5月16日、有志ひのきしん隊を久津分教会で実施。当日は、7人が参加し、敷地内の除草や木の伐採を行った。汗ばむ程の陽気であったが、参加者は勇んでひのきしんに励んだ。



AFTER ← BEFORE

委員長講習会開催  
5・25 於 笠岡詰所  
婦人会

婦人会笠岡支部(上原きよ枝支部長)は、5月25日、午前11時20分より、笠岡詰所において委員長講習会を開催、106人(委員長代理も含む)が参加しました。



熱心に聴講する委員長たち

講習会では、第1講に本部講師・中林由起子先生(大原大教会前支部長)を迎え、第2講は上原きよ枝支部長より、婦人会創立110周年に向けての委員長としての立場・役割・責任など、教会のお母さん役となるよう、今、何をすること

が親の思いにかなう事なのかをしっかりと考え、精一杯動かして頂くようお仕込み頂きました。  
昼食後のねりあいでは、来年の御臨席総会に向けて、各委員長が目標をもつて1千人の参加者をご守護頂けるよう実動への思いを固めさせて頂き、閉会。

引き続き、本部神殿でのお礼づとめは、皆、声高らかに勇んでつとめさせて頂き、東回廊で回廊ひのきしんをつとめ、教祖殿に参拝して、解散。実りのあるおちばでの講習会となりました。(常任委員 田中 つかさ)



どの部屋でもにこやかにねりあい



次代を担うあらかきとうりょう達

青年会笠岡分会(上原明勇委員長)は、5月27日、大教会で「あらかきとうりょう入門塾」を開催した。これは、高校生を対象に毎年開催しているもので、今回は4人の参加者があった。当日は、まず上原繁次副委員長が、高校生の青年会員として大切な事につ

あらかきとうりょう  
入門塾 開催  
5月27日 大教会  
青年会



なごやかにバーベキュータイム

いて、話をした。続いて、上原明勇委員長が、「あらかきとうりょう」の役割、青年会創立100周年に向けての取り組みなどを伝えた。その後、参加者らは、グループタイムでお互いの事を話した。またレクリエーションとして、ニユースポーツ「スポーツテンカ」や、ソフトミニバレーを実施。最後にバーベキューの時間も設けられ、参加者は、学びと親睦を通して青年会活動の一端に触れた。



教祖のおはなし

少年会笠岡団(武内正美団長)は、去る5月27日(日)大教会で、わかぎの集いを開催しました。参加者は、少年会員10人(わかぎ4人)、育成会員6人でつとめさせて頂きました。まず、教祖のおはなしと題して、ご在世当時の背景を分かりやすく説明しながら、おひながたの一端をお伝えし、時折、教祖のおうたをピアノ演奏しながら合唱し、楽しく学びました。続い

わかぎの集い 開催  
少年会



ソフトバレーを楽しむ

て、こどもおぢばがえりの看板の下地となるスナップ写真をとりました。その後、青年会の方々と合流して、ソフトバレーなどに汗を流しました。午後からは、教祖伝逸話篇を紐解きながら、教祖のおこころを聞かせていただき、最後に、座りづとめの練習をしました。近年、わかぎ層が少ない状況でありますが、参加してくださる子供さんには、なんとか喜んで貰おうという気持ちでつとめておりますので、今後ともよろしく願います。(委員 藤井保人)

# ENGLISH SEMINAR

## ～ 第75回英語講習会 ～



今年も海外から外国人講師の先生が来ます。



英会話を中心に役立つ英語を勉強しましょう。初めての人、大歓迎！  
英語が好きな人も、そうでない人も明るく楽しく英会話を勉強しましょう！  
東京オリンピックで、外国人選手との会話に役立つかもしれませんよ！



### [ 募 集 要 項 ]

- 期 間 : 8月7日(火) 午前8時30分 大教会受付  
午前9時00分 開講  
～8日(水) 午後3時ごろ大教会解散
- 受講対象 : 小学4年生以上、中学生、高校生、大学生、一般
- 受講御供 : 1500円(宿泊費、食費、受講費など、全て込み)
- 持参品 : 英和、和英辞典(あれば)、筆記具、着替え、洗面具等
- プログラム : 少人数による英会話学習、英語ゲーム、講話、  
バーベキュー、お楽しみ行事等

尚、詳細はスタッフの上原志郎 TEL 0865(66)1311

吉岡誠一郎 TEL 086(282)0550

もしくは、大教会までお尋ねください。

(御連絡下されば、当日、JR大門駅まで送迎いたします。)

◇ 主催 天理教笠岡大教会 海外部

714-0066 笠岡市用之江377 0865(66)1311

こかん様に続く会 開催  
6月10日 大教会  
女子青年



昼食は手巻き寿司とデザートプレート

笠岡女子青年(武内ゆり委員長)は、6月10日、笠岡大教会でこかん様に続く会を開催させて頂きました。女子青年16人、担当奥様6人の計22人が参加してくださいました。

午前中、支部長様のお話を聞かせて頂きました。素直な心で親の言うことを聞かせていただくこと、「はい」と返事をして実行するということを学ばせて頂きました。お話を振り返り、グ



支部長様と参加者で記念撮影

ループワークでは、すごろくトークを行いました。ゆつくりと話をする機会がなかった委員や会員同士が様々な話題で盛り上がりました。午後からは婦人会の奥様方も参加して頂き、レクレーションを行いました。

沢山の方のお陰で笑い声の絶えない会になりました。

次回のこかん様に続く会は、11月3、4日、天理で開催予定です。来年の女子青年大会、御臨席総会に向けて沢山の会員の参加をお待ちしています。

(委員長 武内ゆり)

タンザニア 訪問記



海外部長 上原 志郎

10年目の訪問

タンザニアおたすけ訪問も今年で10年目(10回目)を迎えました。全ての物事を進めていくには必ずそれに伴う伏せこみが大事だと信じ、10年前1回目の訪問の時からまず10年間は観光などの遊びは一切なしにして、ただこちらから出し切る尽くし切る伏せこみを続けようと共に訪問した人達と申し合わせてきました。この10年目を通して教

祖はこれから先をどう進めて下さるんだろうと半分不安半分期待を重ねながらの今年の訪問となった。

今年月報

かさおかに過去2か月で投稿してくれた若い2人からは非おたすけ訪問に同行したいと言葉を頂いていたの



世界からの仲間とおぢばで日本語を少しずつ話し始めたスティーヴ君

で、意志を確認し参加してくれることとなった。2人とも訪れたことない国、経験したこともない貧困と病気の蔓延した世界に身を置き、それぞれ貴重な感覚と視野を広げられたことと思う。それにもましておさづけを通して人の身上平癒や心のたすかりを願うことの大切さを感じられたことが何よりも貴重なひながたの足取りだったのでないだろうか。

今年の訪問の目的は3つありました。一つ目は教祖から10年の節目にタンザニアから初めての天理教語学院日本語科への学生をお与え頂いた事を受けて、入学前にその子と話し合いをしておくこと。昨年お祀りした講社の参拝をすること。そして土地をお与え頂く話が出てきたのでその土地を見に行くこと。



与えて頂いた土地の近隣の子供達

3ヶ所の孤児院、2ヶ所の小学校を回りながら、その目的を達成できた。天理時報で天理教語学院の入学式の記事が4月に載った。その見出しは「タンザニアから初めての学生」と書かれてあった。彼自身も3歳で父を亡くし8歳で母を亡くした孤児である。それから8年前にマユンガさんの誘いを受けて来日し、よふぼくとなった。それから8年間、私達の訪問時には必ず最初から最後まで全行程を通訳やお道の話をしながらか手伝ってくれている。彼ならこれからの笹岡のタンザニアの道

に役に立つ、と信じて昨年語学院を勧めた。今現在4月から初めての日本語に苦悩しながらおぢばの理を頂いて少しずつ日本語を話し始めたところである。

昨年訪問した時に、ナイマ(現地よふぼく)の父(企業家・政治家)に会い、私達の9年間の活動を報告した際、救援物資をコンテナで送るのに現地のNGOが簡単に港から取り出せなくて苦労している話をした。それなら天理教笹岡のNGOを作ったらどうかという話が持ち上がり、土地を寄贈してくれる話になってきた。今年その土地を訪問すると、果樹園などを含む土地で広さは何と10エーカー(1万2千200坪)であった。これから建物などを含めどう活用するかを大教会長さんを始めタンザニアおたすけ活動に賛同する方々と相談していきたい。

今年も6ヶ所の孤児院、2ヶ所の小学校、病院、軍のサッカーチームに1千10ドル、6個のサッカーボール、文

具などを寄付させて頂いた。

ちなみに10年間の足取りを振り返ってみますと、衣料・文具・バッグ・くつ等 11万5千300箱(ミカン箱相当)、毛布 200枚、車いす 1台、水揚げポンプ 1台、自転車 5台、ミシン 5台、トラクター 1台、中3台、サッカーボール 35個、トヨタレジアス 1台、教区を通してのコンテナ輸送料 26万円、孤児院・小中学校・病院などへの寄付金・災害支援金 6千660ドル、お道のお話をさせて頂いた方々(パンプレット手渡しなどを含む) 約1万3千人、おさづけの回数 約1千200回。

これらの救済活動が続けられていることも、笹岡の方々、教区・支部の方々の心寄せ・ご尽力の賜物です。今日ご飯が食べられるかどうか分からない沢



タンザニアおたすけ活動の元になっているマユンガ氏

山の子供たちがこの心寄せによって命を伸ばしている、又多くの人の心の救いになっていると思うと感無量です。

教祖の世界たすけの思いから言えば遅々たる歩み微々たる歩みかも知れませんが、おさづけやお話しのお取次ぎが出来るところをお与え頂けること。現地で全ての鳴り物、手が揃ってのおつとめ・十二下りがつとめられることを目標としてこれからも歩みが続けていきたいと思えます。有難うございます。そしてこれからもよろしくお願ひします。



現地で取れるココナッツを飲ませてくれる人達

# 五月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の親心溢れるご守護のまにまに 日々は結構に恙なく暮らさせて頂いております 特に今は青葉若葉の輝きの中に子供達も輝いて 生きとし生けるもの全てが輝きに満ち溢れている事を感じる季節をお与え頂いております事は誠に有難く勿体ない極みでございます しかるに身上や事情によりその輝きに気付かず苦しみに喘いでいる人が多くいます事は誠に申し訳ない事でございます 私共は喜び感謝の心から日々は朝夕にお礼を申し上げつつ ご恩報じを念頭に「世界一列を救いたい」との親心とご守護を一人でも多くの人に伝え助かって貰うべく にをいがけ・おたすけにとたすけ一条のご用に努め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は これの笠岡大教会にお許し戴いた たすけの元立てたるおつとめをつとめる御祭り日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び感謝の心を睦び合わせて 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめて 五月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には今日の日を樂しみに寄り集いました道の子供達が 相共にお歌を唱和し日頃のご高恩に改めてお礼申し上げます 尚も尽きせぬ親心にお縋りする状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて本日は祭典に引き続き おちばより少年会本部 金山千穂委員にお越し頂いて縦の伝道講習会を開催させて頂きます 人材育成の中でも道の後継者育成が急務の時句にあつて 若年層の育成は欠かせないものだけに より心と力を結集して取り組んで行く所存でございます 又今月は直轄教会へ巡教をさせて頂き 教祖百四十年祭に向け 教祖が自らお通り下されお示し頂いた陽気ぐらしへのひながたを改めて見つめ直し おたすけの実践とおたすけ人の育成に力を注いでいく事を誓い合せて頂きました

何卒親神様には 成つて来るのが天の理と常にたんのうの心で受け止め親孝心一筋にたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上にご守護を賜り 親心に触れ一列兄弟の理に目覚めて 欲を忘れて助け合う人が弥増して お望み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお願いの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

## 大教会奥様

### 啓発委員に選出される

中田善亮表統領の任命を受け、立教181年3月27日付で第9期天理教啓発委員会が新たにスタートし、大教会奥様が新委員として選出された。

同委員会のメンバーは板倉知幸委員長(本部)、金山雄大副委員長(淀)をはじめ20人。

(詳細は『世界ろくぢ』No.135号、最終ページ参照)

## こころの詩

笠岡の教友が選ばれ掲載されてきましたので転載いたします。(敬称略)

### 『天理時報』

▽6月10日付「時報歌壇」

・福満◎ 福島悦子さん

みどり児を寝かす思いで土かぶせ 薯種いも伏せぬ二月じんじつ尽日

・芦品◎ 金谷眞佐代さん

やれ嬉うれしカーブ観戦二年ぶり

孫と一緒でさらに楽しや

・海松ヶ岡◎ 藤井光子さん

春告げるホタルイカ採るその網に

光ながれて大漁となる

・海松ヶ岡◎ 池田広子さん

島内を駆け抜けてゆく勇壮な

走り神輿みこしに歓声上がる

▽5月27日付「時報俳壇」

・備中◎ 塩飽利子さん

牡丹ぼたん咲くけふから庭の主役なり

▽『陽気』誌六月号「道柳」より転載

▽進秀詠

・東悠◎ 田林美智子さん

真実の初代の道や名はこのこる

▽表紙写真 (備中分教会提供)

立教百八十一年 五月月次祭 祭典役割表

控	胡	三	小	す	太	拍	ち	笛	て	お	地	役割		講	祭	
												方	区分		話	主
え	弓	味	琴	りが	鼓	子	ゃん		を	と		坐	縦	扨	祭	
三代	今	佐	虫	中	谷	森	笹	佐	岡	門	大	上	上	大	今	大
温	川	藤	明	村	内	本	尾	藤	崎	脇	教	原	原	会	杉	教
生	佐	香	好	義	伸	忠	正	道	真	奥	会	明	明	長	原	長
	智	苗	美	太	自	平	治	孝	一	様	長	勇	郎	様	博	様
	子			郎												
	内	谷	武	高	渡	山	赤	杉	中	森	上	山	中	上	門	
	海	内	内	木	邊	田	木	原	村	本	原	野	島	原	脇	
	安	美	清	昭	隆	敏	素	博	初	富	順	弘	誠	明	元	
	子	知	祥	夫	夫	教	志	之	美	美	子	実	治	勇	教	
		子	明	夫	夫	教	志	之	美	子	子	実	治	勇	教	
	田	横	門	吉	田	森	虫	岡	浅	山	岡	横	上	中	今	
	中	山	脇	岡	林	本	明	田	野	野	崎	山	原	村	川	
	つか	小	加	誠	久	忠	立	明	明	和	豊	逸	浩	剛	昌	
	かさ	智	津	一	嗣	善	生	誠	教	美	子	郎	次	彦	彦	

七月講話	指	賛
今川昌彦	岡	赤
	田	木
	壽	素
	誠	志

大教会だより

◎三日講習会修了者

立教181年6月3日終講  
坪生 阿部道子

◎教人資格講習会修了者(中期)

立教181年6月5日終講  
弓ヶ濱 森川道弘

◎教人資格講習会修了者(全期)

立教181年6月10日終講  
稲倉 大月勇樹

◎教会長資格検定講習会修了者

立教181年6月19日終講  
大江橋 村川久美子

◎直属ひのきしん特別隊

自 立教181年6月1日  
至 立教181年6月4日  
福富士 藤井成人  
自 立教181年6月5日  
至 立教181年6月20日  
福山 福田恵司

※お詫びと訂正

本年4月21日発行の『かさおか 第57巻第4号』に掲載の「談話室——磨き上げれば」の記事中、7ページ2段目「真柱様が上下分教会に入りこまれた」のは「昭和49年」となっておりましたが、「昭和55年」の誤りでした。読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。



ここ最近、日常に追われて仕事中心の生活になっている。そこで先日、子供の運動会を見に行った。そこで昨年の成長と比べて、改めて、子供の成長を感じた事はいうまでもないが、PTAの競技に出た時、大人と子供の力の出すパワーが全然違う事にすごい圧倒された。その中で、大人も子供も共に応援し合い、気遣い合い助け合える事が自然に行えるという事は、人間の元々持っている本能であるんだと気付いた。

(う)



天理教婦人会笠岡支部

# 婦人会長様ご臨席総会

立教八二年六月二十三日(日)午前十時

陽気ぐらしは女性から

「千人の参加を目指して」

2019.6.23

立教148年	昭和60年(1985年) 立教148年	昭和59年(1984年)
<p>陽備分教会附属建物増築 3. 26</p> <p>第三十四回春季英語講習会(五〇人) 3. 28</p> <p>少年会鼓笛講習会(三〇九人) 4. 1</p> <p>権島分教会四代会長岩崎光生任命(三代会長岩崎吉男辞任) 4. 18</p> <p>就任奉告祭: 五月十二日</p> <p>立教百四十八年上半期布教実修会(七月迄) 4</p> <p>少年会育成講習会 5. 18</p> <p>婦人会委員部長講習会(二三〇人) 5. 21</p> <p>福順分教会二代會長東濱十三雄任命(初代会長東濱盛義 昭和六十年二月十三日出直) 5. 26</p> <p>就任奉告祭: 六月二日</p> <p>天理トシネル貴通式 6. 4</p> <p>第二炊事本部竣工 6. 14</p> <p>松田元雄先生を迎え縦の伝道講習会(五〇〇人) 6. 21</p> <p>大教会史編纂常任委員会(この年、以後十一回開く) 6. 21</p> <p>教会長講習会(一四〇人) 6. 26</p> <p>三代会長夫人上原くにゑ米寿の御礼ぐとめ 7. 22</p> <p>子どもおちばがえり第一団出発(神邊。二十九日迄) 7. 26</p> <p>子どもおちばがえり島根団、松江を出発(二十八日迄) 7. 26</p> <p>子どもおちばがえり第二団出発(高尾。八月一日迄) 7. 29</p>	<p>教祖百年祭先達決起大会(三〇〇人余) 3. 4</p> <p>教祖百年祭布教推進隊員研修会(五六人) 3. 21</p> <p>初の直屬学生担当委員長研修会 3. 26</p> <p>福廣分教会建築模様替 2. 26</p> <p>就任奉告祭: 三月十七日</p> <p>福廣分教会五代會長佐々木滋郎任命(四代会長棟田友一辞任) 2. 26</p> <p>教祖百年祭先達決起大会(七月十四日迄) 2. 3</p>	<p>奉告祭: 十一月十二日 11. 18</p> <p>島根分教会創立八十八周年記念祭 11. 18</p> <p>香地華分教会附属建物増築 11. 26</p> <p>香地華分教会三代會長渡邊勇喜任命(二代會長瀬良トシ 昭和五十九年九月十一日出直) 11. 26</p> <p>就任奉告祭: 十二月二日</p> <p>この年本部では、五月一日雛形かんろだいですかえ、神殿上段改修事始めの願いぐとめがとめられ、十月二十四日、雛形かんろだいですかえのおとめ又十月二十五日 神殿上段改修、東西礼拝場ふしん竣工の御礼ぐとめがとめられた。</p> <p>この年の大教会年間統計 初席者五百三十二人 おさづけの理拝載者二百七十二人 修養科修了者百六十人 教人登録者七十五人 教人総数二千九十二人 よふほく総数二万百二十七人。全教よふほく総数百万八千三百五十六人。</p>

立教149年	
1	今年からしめ縄と月次祭での玉串奉獻が廃止
1・8	大教会承事・依佐美布教所長岡崎真澄出直(六十六歳)
1・25	教祖百年祭団体第一団出発(二十八日迄)
1・26	教祖百年祭執行(二月十八日迄)
1・28	教祖百年祭団体第二団出発(三十一日迄)
1・31	教祖百年祭団体第三団出発(二月三日迄)
2・2	教祖百年祭団体第四団出発(四日迄)
2・3	教祖百年祭団体第五団出発(六日迄)
2・6	教祖百年祭団体第六団出発(九日迄)
2・8	教祖百年祭団体第七団出発(十日迄)
2・9	教祖百年祭団体第八団出発(十二日迄)
2・10	教祖百年祭記念式典展示館の入場者百万人突破
2・12	教祖百年祭団体第九団出発(十六日迄)
2・14	教祖百年祭団体第十団出発(十六日迄)
2・16	教祖百年祭団体第十一団出発(十九日迄)
2・22	少年会育成講習会(八〇人)
3・27	第三十六回春季英語講習会(二〇人)

百二十四百二十二。

昭和60年 (1985年)	
7・30	こどもおぢばがえり第三団出発(福山。八月二日迄)
8・1	こどもおぢばがえり第四団出発(直轄・久松四日迄)
8・7	第三十五回夏季英語講習会(二五人)
8・18	こかん様に続く会(三〇人)
8・21	教祖百年祭布教研修隊員講習会
8・23	少年会おつとめまなび総会(八〇人)
8・31	布教所長講習会
8・31	おやきとやかた南右第三棟竣工
9・26	上下分教会五代会長山野あや子任命(四代会長山野繁樹 昭和六十年七月二十一日出直)
9・29	就任奉告祭：十一月十三日
9・29	天理青年おぢば帰り大会
9・9	立教百四十八年下半期布教実修会(十二月迄)
11・24	伊藤通友先生を迎え第十六回女子青年大会(一九〇人)
12	白川駐車場、アクセマ道路、バス乗降場、国道二十五号線天理バス、天理トシネル完成

この年大教会では、教祖百年祭前年の年として布教意欲の高揚に努めた一年であった。本部では天理市南を通る国道二十五号線天理バス道路、また第二炊事本部の竣工、南右第三棟の竣工と、年祭へむけての親里整備が進んだ年であった。

この年の大教会年間統計 初席者四百九十九人 おさげけの理拝戴者三百二十四人 修養科修了者百六十一人 教人登録者九十五人 教人総数三千百八十七人 よふぼく総数一万三百七十三人。全教よふぼく総数